

おおづまち議会だより

0ZU

2022
99号
3月定例会

CONTENTS

- 一般質問…………… 10
- 視察／意見交換会…………… 17

本会議動画配信
はじめました

議会だよりが
読めるアプリ
マナイロ



江藤家住宅 ままろう会会員と広場 4月10日

有権者は 求めない! 寄附は **NO!** 政治家は 贈らない!



| | | | | | |
|------------|---------------------------|------------|-----------------------|---------------------|------------------------------------|
| お慶賀やお年賀 | 入学祝・卒業祝 | 病気見舞い | 秘書等が代理で出席する場合の結婚祝 | 秘書等が代理で出席する場合の葬式の香典 | 葬式の花輪・供花 |
| 落成式・開店祝の花輪 | 町内会の集会や旅行などの催物への寸志や飲食物の差入 | お祭りへの寄附や差入 | 市域の運動会やスポーツ大会への飲食物の差入 | 年賀状・お祝い状 | 贈らない! 求めない! 受け取らない! |

政治家が選挙区内の人や団体にお金や物を贈ることは、時期や理由を問わず**法律で禁止**されています。また、有権者が政治家に対し寄附を求めることも**禁止**されています。

次回定例会は **6月8日(水)開催予定** 日程 6月8日(水)～16日(木) (予定)
会場 庁舎 4階 議場
(日程は変更になる場合があります)

議会広報編集特別委員会

- 議長 桐原 則雄
- 発行責任者
- 委員
- 豊瀬 和久
- 副委員長
- 三宮 美香
- 委員長

編集後記

新型コロナウイルス感染症の再拡大など懸念すべき点は多々ありますが、大津町でも半導体関連企業の動きが活発になってきております。また、新型コロナウイルス感染症のワクチンも3回目接種が始まり対象年齢も拡大しておりますので希望される方が少しでも早くワクチンの接種を終えることができるよう後押ししていきたいと思っております。

議会だよりも平成9年8月15日に創刊し、今回で99号になります。次回100号で大幅にリニューアルを予定しており今後とも読者の皆様ご存知の通り、読みやすい紙面作りを努めて参りたいと思っております。(編集委員 大村 裕一郎)

令和4年5月16日 第99号 発行/熊本県菊池郡大津町議会
編集/議会広報編集特別委員会 印刷/株式会社キヤップ
〒869-1292 熊本県菊池郡大津町大津1233 ☎(096)293-8989

この議会だよりは、リサイクル推進のため再生紙を利用しています。

↓ 皆さまの声を寄せてください!

切り取ってお出してください

郵便はがき

料金受取人私郵便

8 6 9 - 1 2 9 0

大津局 承認 702

(受取人)
大津町大字大津1233番地
大津町役場 議会事務局
議会広報編集特別委員会 行

ふりがな
ご氏名

ご住所

お電話 () - () - ()

議員の賛否を公開します

| 上程された議案・概要 | 桐原 則雄 | 荒木 俊彦 | 津田 桂伸 | 永田 和彦 | 坂本 典光 | 大塚 龍一郎 | 佐藤 真二 | 豊瀬 和久 | 山本 富二夫 | 山部 良二 | 三宮 美香 | 大塚 益雄 | 西川 秀貢 | 時松 智弘 | 田代 元氣 | 大村 裕一郎 | 賛成 ○ | 反対 ● | |
|---------------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|------|------|---|
| 一般会計予算 | - | ● | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 13 | 2 |
| 国民健康保険特別会計予算 | - | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 14 | 1 |
| 介護保険特別会計予算 | - | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 14 | 1 |
| 後期高齢者医療特別会計予算 | - | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 14 | 1 |

※議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。賛否の分かれた議案のみ掲載しています。

■賛否表 ○は(賛成) ●は(反対) 棄は(棄権) 欠は(欠席) 早は(早退)

その他の議案については議会ホームページをご覧ください。

大津町議会 検索

議員の視点 (発言の一部を抜粋して掲載しています)

永田 和彦議員
 問 工業団地の土地選定業務委託について民間の場合、情報漏洩が考えられるが、どういった会社に委託するのか。また、委託内容はどのようなものか。
 答 情報管理については守秘義務を徹底するとともに、適地調査に実績がある会社を選定する。

佐藤 真二議員
 問 地域包括支援システムを委託するにあたって特定の業者が提供する同種の製品やサービス、システム等から他の業者への乗り換えが困難になることについての対応はどのようにしているのか。
 答 価格だけではなく操作性や効率性も重視するため、プロポーザル方式で操作性の審査も加えたり、データ移行費用を別途計上するなどして対応している。システム更新には色々課題も残されているので、引き続き研究していく。

山部 良二議員
 問 今回制定する条例には、小規模業者の特性に応じた支援という文言がなく、明記すべきではないか。
 答 今回の条例には総合的な支援として、企業の安定や強化について町が施策を講じると記している。企業に応じた具体的な支援を行っている。

山本 富二夫議員
 問 消防団の処遇改善が行われているが、活動費についてはどのように考えているのか。
 答 活動費については消防団と協議したうえで、国の基準に基づき支給する制度をつくった。

豊瀬 和久議員
 問 DX推進事業について、どのようなものが電子申請できるようになるのか。また、今後の展開はどのようにしているのか。
 答 道路の不具合の連絡や、申し込み関係に活用していければと思っている。
 個人認証が必要なものに関しては、マイナポータルを使用する必要があるが、それ以外のものについては拡大していく。

時松 智弘議員
 問 特定健診などの集団検診事業受診率が低いのは受診の時間に問題があるのではないかと。健診の際は朝から食事が出来ない為、高齢者は昼前にはフラフラになっている。午前中の早い時間に終わらせれば受診率は上がるのではないかと。
 答 指摘の通り、朝食を摂れないまま健診に来られる高齢者にはかなりのご負担をかけている。余裕のある健診計画が出来るよう検討する。

荒木 俊彦議員
 問 保育士の処遇改善は恒久的な賃上げが続くのか。また実際に保育士の方々に届くのかを報告を受け、検証する仕組みになっているのか。
 答 国の補助事業が切れる10月以降は保育の財源の見直しがされ、恒久的な処遇改善がおこなわれる予定です。

三宮 美香議員
 問 防犯カメラ設置事業について、大津町防犯カメラの適正な管理運用に関する規則に基づき道路、公園、公共の場所に設置されているのか。
 答 当然、公園にも必要となるには優先順位をつけながら設置していきたい。

誰もが住みたくなるまちへ

一般会計予算147億8662万円
2022年度予算が成立しました

3月定例会は、3月3日から18日までの16日間の会期で開きました。町長提案の一般会計をはじめ8会計の予算案や、条例の改正など32議案を審議し可決しました。「ロシアによるウクライナへの侵略行為に断固抗議する決議」を全会一致で可決しました。一般質問には12人が登壇しました。

大きな項目をお知らせします

▶ 防犯・交通安全対策費 9131万円



▶ 大津町振興総合計画基本計画



まちづくりの羅針盤ができました
 わかりやすくまとめた概要版もあります
 大津町の4年間の計画を見てください

▶ 岩戸溪谷遊歩道復旧費 569万円



▶ 大津中学校校舎改修設計費 6800万円



▶ 消防団員の条例の一部を改正



「年額報酬」を増額
 「出勤報酬」を創設

議会は年間4回 予算審議の流れ

| | | | |
|-----------------|-----------------|-------------------------|------------------|
| 3月定例会 当初予算審議 | 6月定例会 補正予算審議 | 9月定例会 補正予算審議 決算認定 | 12月定例会 補正予算審議 |
|-----------------|-----------------|-------------------------|------------------|

年間予算の大部分は3月定例会で審議します。それ以降は状況に応じて補正予算という形になります。基本的には補正(計画変更)は少ない方が望ましいと言われるますが、外的要因も影響します。

持続可能な社会・まちづくりを



通学路の自転車横断帯

交通安全対策と横断歩道の改善整備は

◎ 美咲野北側周辺の横断歩道や自転車横断帯の設置の経緯は。
◎ 住民の要望に沿ったものになっているのが。

◎ 新設した横断歩道は警察との協議により要望箇所では危険と判断されたため、やや西側寄りに設置をした。
◎ また、交差点の自転車横断帯は新設ではなく既設の横断帯であり、警察にて検討の上、歩行者及び自転車の通行が多い事から、県とともに塗り直しを行った。

ふるさと納税における町の特産品の人気は

◎ ふるさと納税での人気商品は。またどの地域の方が寄付をされているか。
◎ また、ふるさと納税の寄付から返礼品の送付までの流れはどうなっているか。

◎ 現在人気の商品は「うまかポーク」を使用した豚肉のスライスが人気となっている。寄付者の多くは関東圏に在住の方が多い状況になっている。

◎ また全体の流れは受付し、その情報を収納代行業者、返礼品業者、町で共有し寄付者への返礼送付と収納を行っている。



うまかポーク

町民と行政の連携推進と情報発信の強化施策は

◎ 様々な世代や行政への無関心層に届く情報発信を進めるとの事だが、どのような媒体で行うかのビジョンは。
◎ 若い世代がどのような媒体を活用しているかの調査研究は。

◎ 現在LINEセグメント配信を活用しているが、Facebookや若者の利用が多いInstagramの活用にも力を入れていきたい。
◎ また媒体同士の連携も情報収集しながら職員の負担にならない情報発信とサービス活用を検討していく。
◎ また若い世代への発信力強化には役場若手職員からも情報を募り対応していく。



スマホ時代の情報発信

振興総合計画を基礎に

総務委員会レポート



リニューアルした駐車場とイベントスペース

新しい役場駐車場等の利便性については

◎ 役場駐車場は庁舎を利用する方や周辺施設に行かれる方を考慮し3時間まで無料としているが時間設定は適切か。
◎ また庁舎前広場はイベント等への利用貸し出しを考えているのか。

◎ 無料時間の設定については「2時間」か「3時間」かの議論を行った。会議利用や商店街活性化を考慮し2時間プラス前後30分を想定している。

◎ また庁舎前広場については災害時、緊急時のスペースとして確保しており、今後は他の利用も検討していく。

隣保館のあり方

◎ 隣保館の名称を時代に即して変えられないか。

◎ 大津町全体としての啓発の拠点として、地域とのつながりを重視している。

◎ 地域の方々も「何かあったら隣保館へ」と言っておられる。名称については今後の検討課題だが、地域の要望がある限り隣保館の名称は今後も使用していきたい。



人権啓発福祉センター（隣保館）

資源ごみの持ち去りに対し厳罰化はできないか

◎ 空き缶の回収を行う資源物のごみの日に無断で持ち去る事案が発生している。

◎ 条例で禁止され、罰金も定めているが改善されない。
◎ 罰金額を上げた際、熊本市が行っている氏名公表などで抑制が出来ないか。

◎ 資源物ごみの持ち去りは広域的に行われていることから現行犯逮捕が難しく、目撃された人にはナンバーを控えて頂くなど依頼している。

◎ 最近、警察が行方者（持ち去り犯）を特定し、条例に基づき町から本人に禁止命令書を出した事例もある。
◎ 罰則強化については今後近隣市町村と協議を進めたい。



資源持ち去りは犯罪

どう描いていくのか

賑わいと活力の創出を

◎ 町の賑わいと活力の創出について、まずは関係団体との情報共有やWi-Fi整備など出来ることから進めていくべきではないか。

▲ 情報の共有が不足していたので、今後は情報の共有に努める。また、Wi-Fi整備についてはインバウンド向けに検討したが、コロナ禍で止まっている。今後は情報インフラとして関係課と整備を検討する。



大津町の風景

農地の担い手は

◎ 若い農業者も減少してきており、耕作放棄地の解消率を上げていくことが難しくなるが、その点はどう考えているのか。

▲ 今後導入するタブレット端末を活用しながら、規模拡大の意向など情報収集に努め、マッチングを行うなどして解消していきたい。



芋畑

耕作放棄地解消におけるタブレット端末の活用方針は

◎ タブレット端末を活用した情報収集はどのようにして行うのか。

▲ 農地ナビと連動するアプリケーションを国が開発しており、農地の状況などを把握することが可能になる。また、多面的機能支払交付金事業の必須メニューとして耕作放棄地の解消があるので、各集落で取り組んでいただいている。



大津町の未来を

経済建設委員会レポート



農工商併進のバランスを

◎ 農工商併進での発展は、1次、2次、3次産業の体制を整え6次産業化まで持つていくことが重要である。大津町の強みである交通の要衝や豊富な地下水など町の魅力を把握し、宣伝する必要がある。

▲ 大津町の強みをしっかりと把握し、関係課やプロジェクトチームと情報を交換しながら企業誘致を進める。

町内企業の 人材の確保の方法は



◎ 人材の確保において高校生に絞っているが町と高校の繋がりはとても重要である。国家百年の計は教育にありとも言われるので、高校との繋がりはもっと強くなければいけないのではないかと。

▲ 人材の確保は、土地を準備し企業立地したとしても非常に懸念されている材料になる。県との連携や、民間の力を借りながら、今後の人材確保に取り組む。

企業誘致の取り組みは

◎ 工業団地の整備について、町としてはどのような取り組みを行っているのか。

▲ スピード感を持って進めていくため、適地調査の予算を計上している。候補地選定に当たっては、事前に内部で検討し、候補地の想定を持ちつつ、専門家の意見を踏まえ適地を選んでいきたいと考えている。また、インフラ・住宅・教育・子育てなど多岐にわたる分野で、プロジェクトチームを立ち上げ、検討を進めている。



やすい大津町へ



保育士の処遇改善

Q 保育士の処遇改善について、公立園も対象となっている。

町内の公立園職員を対象としないのならば働く意欲の低下や公立の職員不足に繋がるのではないかと。

A 町内公立園の職員の賃金は民間と比較しても高いことや、菊池圏域2市2町でも実施してる自治体はなく現行以上の改善は必要ないため、今回は公立園については見送ることとした。

意見 公立が上げないと私立も上がらないと思う。

給食費の現状は

Q 近隣市では給食費の値上げを行うが本町の状況はどうか。

A 食材の調達に関し、米、パン、牛乳の基本食材が値上がり傾向であり、その他の食材も値上がりが見られる。

また、値上げを行う場合、根拠の整理や保護者アンケートの実施が必要になる。

意見 まず、経費削減などの努力をした上で、やむを得ない場合はしっかりと説明が必要だ。



大津町の給食

Q 第6次大津町振興総合計画のなかに健康づくりの推進とあるが、具体的な取り組みは。

A 健康ポイント事業と民間企業と連携した事業展開を考えている。

また、4月に配置予定の地域活性化企業人からのアドバースも取り入れながら実施していく。



健康で暮らし

ワクチン接種の現状は

Q ワクチン接種について、3回目接種の進捗状況は。また、子ども向け接種の状況は。

A 高齢者に対しては順調に進んでおり3月中には終了する見込みである。

また、小児ワクチンについては、3月22日より接種開始予定だが、事前の意向調査では、希望する方が4割、様子を見たい方が3割、接種拒否の方が3割という結果だった。

ワクチン予約の回線をフリーダイヤルにすべき

Q 国は一日も早く多くの人にワクチン接種をお願いすることで費用を全額国の補助としている。

国費で賄えるのであるからコールセンターの回線をフリーダイヤルにするべきではないのか。

A 熊本市など一部の自治体ではフリーダイヤルを導入しているが、本町と同規模の自治体で導入している市町村は少なく、費用対効果を考えた上で事業を展開している。

移動販売車のさらなる利便性向上を

Q 移動販売車の運営状況は。また、広報などの周知は。

A 令和3年8月より事業拡大し、対象地区にチラシを全戸配布し周知をしている。

また、利用頻度の少ない地区へはチラシを再度全戸配布している。

今後も売り上げ向上と高齢者の外出支援に貢献したい。

意見 利用者からは好評の声も頂いている。

地域の違いはあるが好事例も取り入れ、安定的に事業が継続できるよう工夫してもらいたい。



きくちのまんまGO 2号車

文教厚生委員会レポート



一般質問

町政を問う 3月定例会

一般質問に16名中12名が登壇



町のさまざまな問題・課題について、議員が町に考えを問うのが一般質問です。議員は政策提言も含め、質問することができます。ここでは、質問した議員ごとに一項目を要約してお知らせします。今回より一般質問のライブ・録画配信が始まりました。顔写真横の二次元バーコードからご覧になれます。※一般質問の記事に関しましては、各自が編集したものを掲載しています。

文化財の保存・管理のための体制強化を

A 適切に保護していくことは非常に大切なこと



豊瀬 和久議員



現在も回り続ける貴重な水車

その他の質問

- ・TSMC進出に対応するための体制強化と都市計画の見直しについて
- ・結婚新生活支援事業について

①文化財指定を申請するためのルールは、②地域から文化財に関する情報提供を受ける体制整備が必要ではないか。③町の文化財指定基準を策定すべき。④文化財保護協会が必要ではないか。

A 町の文化財を適切に保護していくことは、歴史文化の振興と継承を図る上でも非常に大切なことだと考えています。

まだ眠っている文化財の情報を取りこぼさないよう、情報提供のための窓口を明確化することで、文化財の保存活用につなげたい。(町長)

A 文化財保護に携わる人々とともに、町の宝物である文化財を保存活用しながら、多くの町民の皆様と歴史文化伝承館を利用いただけるよう、様々な工夫をしていく。(教育長)

A 町の歴史や文化財などを長く調査研究されている方や、グループの皆様は町にとっても貴重な財産であると思う。その方々に意見を伺いながら、どのような組織づくりが求められているのか、意見交換をしていきたい。(教育部長)

肥後大津～阿蘇くまもと空港～新設構想～

A 長期的展望を持ち計画的に進めていく

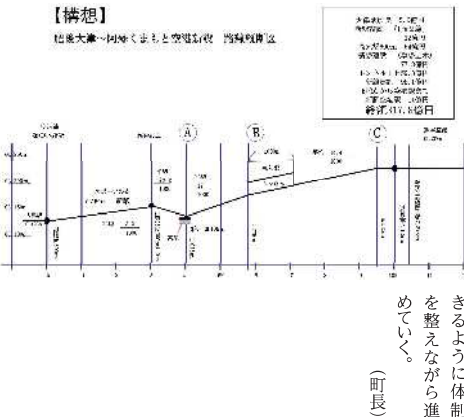


山部 良二議員

肥後大津駅からスポーツの森線を経由した空港線建設、そして豊肥線の複線化、スポーツの森新設と周辺エリアの整備と活性化を一体的に進め、スポーツの森エリア内で生活全てが完結し、車社会における移動弱者の暮らしやすさ、また高齢者や障がいのある方々へ効果的な支援など、誰一人取り残さない持続可能な「ジビツクプライドの醸成」に根ざした「コンパクトなSDGs未来

都市」を目指すべきではないか。

A 上下分離方式等に関しては、複線化を含め関係機関に話をしている。また、アクセス鉄道や中間駅に関しても、町が考えているスポーツの森周辺の開発構想を踏まえた上で、熊本市内・阿蘇等へのアクセスの向上、より発展的で県全体の明るい未来につながる開発構想になるように、複数の計画を描きながら迅速かつ適切に対応できるように体制を整えながら進めていく。(町長)



中学校部活動改革、最善の取り組みを

A 持続可能な部活動の実現をめざしたい



田代 元気議員

令和5年度より段階的に始まる中学校の部活動改革について、町としてのこれまでの取り組みや今後の方向性は。また、職員の兼業兼職についての認識や、経済的に困窮している家庭への支援の在り方等をどのように考えているのか。

A 地域移行に向け令和2年度から部活動指導員を積極的に導入してきたが課題も認識している。今後、関係機関と連携し、人材バンクを整備し、地域人材を最大限活かせる仕組みを検討し取り組んでいきたい。また、職員の兼業兼職の在り方について、国の今後の情報を収集する必要がある。(教育長)

A 運営団体の整備に向け検討委員会を設置し、今後取り組みを検討し、その中で経済的に困窮する家庭や地域団体への支援を考え、持続可能な部活動の実現を目指したい。(教育部長)

学校の働き方改革を踏まえた部活動改革 概要

部活動の意義と課題

- 部活動は、教科学習と異なる集団での活動を通じた人間形成の機会や、多様な生徒が活躍できる場である。
- 一方で、部活動の活動による身体的な負担や、休日の部活動による学習の妨げ、休日の部活動による地域との関係悪化や、部活動の維持・運営にかかる費用負担など、課題も出てきている。
- 持続可能な部活動の実現に向けて、部活動の持続可能性を高めるための取り組みが必要である。

持続可能な部活動と教師の負担軽減の両方を実現できる改革が必要

改革の方向性

- 部活動は必ずしも教師が出ない業務であることと捉え、部活動改革の第一歩として、休日の部活動を必要に応じて地域に委託し、休日に教師が部活動の指導に専念する必要がある。
- 部活動の指導を希望する教師は、可能な限り休日に指導を行うことが可能な仕組みを構築する。
- 生徒の活動機会を確保するため、休日に近隣の地域のスポーツ文化施設を活用できる環境を整備する。

具体的な方策

I. 休日の部活動の段階的な地域移行（令和5年度以降、段階的に実施）

- 休日の部活動や大会への引当を担う地域人材の確保（町長、ボランティアなどの担い手人材の活用、部活動の推進、地域企業との連携による人材の活用）
- ボランティアによる負担軽減、地方自治体による関係機関との連携による支援
- 拠点校（地域）に広がる実践研究の推進とその成果の全県展開

II. 合同での効率的な部活動の推進

- 地域の連携を踏まえ、部中・部外地域における他校との合同部活動の推進
- 地理的制約を越えて、生徒・指導者間のコミュニケーションが可能なICT活用の推進
- 主として地方大会の後の練習（実習）の推進、参加する大会の精選、大会当日の後の練習の推進

Q 「非核平和都市宣言のまち大津」の横断幕を新庁舎に掲げて

A 横断幕を掲げて、町の姿勢を示し・啓発を図る



荒木 俊彦議員



非核平和都市宣言・・・大津町
世界の恒久平和は、人類の共通の願望である。しかるに、米・ソ超核大国による核軍拡競争は拡大均衡をめざすという口実ですます激化し、世界の平和と安全に重大な脅威と危機をもたらしている。わが国は、世界唯一の核被爆国としてこの地球上に広島、長崎の惨禍を再びくりかえしてはならないと訴えるものである。大津町は、平和憲法の精神にのっとり「非核三原則」を将来とともに遵守し、あらゆる国のあらゆる核兵器の廃絶を全世界に強く訴え核兵器の全面撤廃と軍縮を推進し、もって世界の恒久平和達成をめざすものである。ここに大津町は「非核平和都市」の宣言を行うものである。以上決議する。1984年9月22日 大津町議会

その他の質問

- ・国保加入者のコロナ感染者に救済を
- ・あけぼの団地に来客用駐車場が必要

Q ロシアによるウクライナへの侵略戦争に、世界中から非難と抗議の声が上がり、大津町議会の、抗議決議を上げた。ロシアのプーチン大統領は、核兵器の先制使用まで言及した。万が一でも、核兵器が使用されれば、人類の滅亡につながる。大津町は「非核平和都市」宣言の町であり、新庁舎にも、この横断幕を一刻も早く掲げて、核兵器のない平和な世界を発信するべきではないか。

A 大津町は、日本非核宣言自治体協議会に加入しており、本協議会でもロシア宛てに抗議文を發出し、平和的解決の話し合いを強く求めている。役場庁舎に横断幕を掲げて広くアピールするべきではないかという提案については、町の姿勢を示し、広く啓発を図るためにも、横断幕を掲げるよう進めたい。今後とも、非核宣言自治体協議会と連携して、平和に関する事業や普及啓発に取り組んでいきたい。(町長)

Q 町の活性化に向け積極的な景観保護を

A 発展・開発、景観の双方を両立させる



三宮 美香議員



庁舎4階からの眺め

Q TSMCの進出により、今後、高層建築物が増え大津町の景観が損なわれる可能性がある。世界かんがい施設遺産に登録された上井手も、昨年は教育旅行で県外からの学生が訪れている。景観条例を制定することにより①安心安全な生活環境②空き家対策③通学路など生活道路の整備④文化遺産の効率的な活用⑤将来を見据えた都市開発計画⑥阿蘇と熊本を見渡す眺望の保全、以上の効果が期待できる。大津町が魅力的な町にし、活性化させるためには景観保護条例が必要ではないか。

A 大津町は、町全域が都市計画区域となっており、都市計画法の用途地域に応じた建築条件が定められ、その範囲内で開発が行われている。引き続き、都市計画法の区域の中で開発を誘導しながら、町の発展を推進し、開発の誘導と景観の双方を両立させながら、まちづくりを行っていく。(町長)

その他の質問

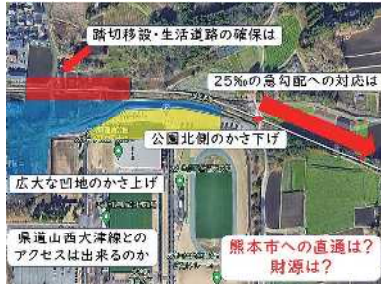
- ・商業施設の誘致について

Q 困難な新駅計画を改め空港アクセス線推進を

A 有効性を認識している、十分に踏まえ検討する



時松 智弘議員



無理筋の新駅計画をやめ空港アクセス線上新駅を

Q 県は、空港アクセス鉄道の三里木からの延伸案を凍結し、原水や肥後大津駅からのルート再検討を行うと発表をした。JR側も、建設の起点は肥後大津駅が望ましいと何度も答えている。現状、町が考えている豊肥本線上の新駅設置は法令上、技術上困難な課題が多く、現実的で無い。近隣市町村の意向も含め空港アクセス線上に設置を検討すべきではないか。技術的な問題、見地を有する人たちの意見を集約できれば、町長が公約しているスポーツの森駅は空港アクセス線上に効果的に設置できるかと考える。検討委員会の設置は考えないか。

A 豊肥本線上にスポーツの森駅をつくるより空港アクセス鉄道の肥後大津ルートの可能性を踏まえた提案と思える。空港アクセス線の状況から、そのように私も考えており、いずれの場所への駅設置を前提に進めるかについて、当初の想定と変わる可能性も当然にあると考えている。私も部長等にもそのような構想を示し、アウトレットモールの実現等周辺の開発による呼び込み等を含め、町としてぜひ取り組みたいと考えている。熊本空港アクセス線の県やJRの動き等を踏まえ、慎重に協議し、対応したい。(町長)

その他の質問

- ・住居バリアフリー対策について
- ・台湾との交流施策について

Q JR瀬田駅周辺に民間不動産の誘致

A 都市計画をはじめとする法令の確認など、整理をする必要がある



山本 富二夫議員



JR 瀬田駅

Q TSMCが菊陽町に進出し工場の建設が今年四月始まる。それに伴い、多くの従業員の方が転動し、住まいの確保を求めている。TSMCと関連会社の従業員の仕事の確保を県や周りの市町村は、取り組まなければならない。JR瀬田駅周辺は、開発の最も適した地域だと私自身感じている。工場から、三十分以内の便利な地区にあり、町は美咲野団地くらの、大型団地の誘致を真剣に取り組むべきだ。

A TSMC自体の方針が固まらないうか投資家の方々も、大きな投資に慎重になっている状況があると同っている。民間開発業者の誘致については、どのような環境が整えば、町全体が発展する形で開発を促進できるのかを研究分析するとともに、情報を適切に集め、町のそれぞれの地域特性などを適切に情報発信し、地元住民とも相談し、丁寧に対応していきたいと考えている。(町長)

その他の質問

- ・あけぼの団地の4階5階の空室対策
- ・三吉原北出口線の4車線化を

Q 大津町歴史文化の日制定を

A 歴史文化の継承を関係団体と連携し取り組む



大塚 益雄議員



上井手公園

その他の質問

・人口増に伴う行政区の区割りについて

Q 町には多くの歴史文化財があり、大切に保護管理していく必要がある。上井手沿いの塘筋跡は参勤交代の宿場町として栄え、江藤家住宅や第一代横綱不知火光衛門墓石、また、梅の造花や銅銭糖など多くの歴史文化財がある。

A 町民に歴史文化の魅力を知って頂き、歴史文化伝承館を活かしなが

ら、関係団体と連携し、多くの方に郷土愛を育む機会として取り組みたい。また、町のホームページなど充実させ魅力的かつ効果的な情報発信に努めたい。(町長)

Q 完全復活へ国重要文化財「江藤家住宅」

A 新「広場」と共に地域活性化へ発信



大塚 龍一郎議員



「江藤家住宅」に接する「広場」誕生

その他の質問

・南部地区交流広場の役割

Q 「活きた文化財住宅」として令和3年春に主屋が復旧したが、国重要文化財の指定から外れている整備に国、県及び町と個人負担の割合について。

A 文化財公開活用事業として国が85%を、残りが町及び所有者の負担だが、過度な負担とならないよう支援する。「まろう会」の協力には大変感謝している。次世代に継承できるような協議を重ねていく。ガイドやボランティアの育成に関し町内の学校にも呼びかけ地域の文化財を学ぶ機会を広げる。大津南小の総合学習の中で地域の郷土愛を育んでいく。担当職員の引継ぎや指導育成に努める。地域の歴史、文化を長期的に研究する文化財担当者として学芸員の新規採用を予定している。(教育長・教育部長)

Q 山村広場トイレの浄化槽による水洗化

A 水洗化は急務



坂本 典光議員



今どき珍しい汲み取り式のトイレ

その他の質問

・アサリ貝産地偽装事件からの教訓
・大津町教育委員会点検評価報告書について

Q 山村広場には野球場とテニスコートがあり、このトイレは今どき珍しい汲み取り式である。私は5年前に水洗化するよう提言した。

A 山村広場は、スポーツのできる広場として、平成3年に整備され、フットボール、テニス、サッカー等で年間約1万人が利用されている。山村広場については、下水道整備計画に入っている。現在は、下流側に当たる大林瀬田を整備中であり、上流側の山村広場までの下水道整備についてはもうすこし先になる見込みである。しかし、衛生面からも水洗化は急務であることから、議員提案の浄化槽による水洗化について費用面や設置条件など今後調査検討する。(町長)

Q 情報提供のあり方や質の改善を行わないか

A 情報の整理方針や役割分担など準備を進めていきたい



大村 裕一郎議員



大津町ホームページ

その他の質問

・認定農業者の周知について

Q 今現在、情報を得る手段は、ウェブサイトに動画、SNS等が主流になってきており、大津町のホームページへのアクセスも増えることが予想される。今のうちから情報提供の在り方や質の向上の方法を早急に検討、改善を行えば、窓口対応や電話対応にかかる時間の短縮、住民サービスの向上につながるのではないかと。

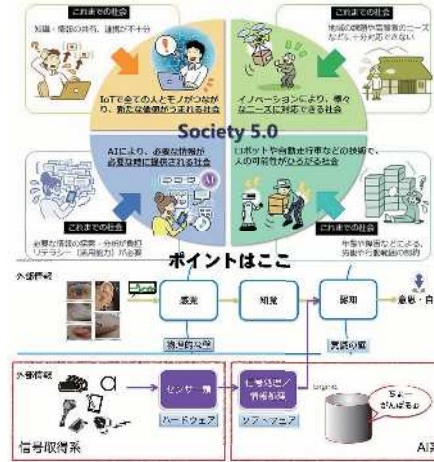
A ホームページは、町民の皆様に様々な情報をお伝えするための非常に重要なツールである。閲覧した際に必要としている情報がすぐに把握できるよう、各分野の情報をわかりやすく整理するとともに、見やすく使いやすいものにしていくことが急務だと考えている。ホームページはもちろん、広報紙や公式LINEなどのSNSも含め積極的な情報発信に向け全庁的に取り組んでいく。(町長)



永田 和彦議員

- ◎ 新型コロナウイルス対策について
 - ◎ 命を守る徹底した防災・防犯対策について
 - ◎ 子育て支援・教育環境日本のまなづくらについて
 - ◎ 人生100年時代を見据えた福祉について
 - ◎ 活気とにぎわいを生み出す仕組みづくりについて
 - ◎ 町内産業支援と活性化について
 - ◎ 町民により信頼され愛される後場の実現について
- ※ 町民の皆様をお願い申し上げます。
議会だよりの内容はそれぞれの主観に基づいて書かれていますので、実際の議会内容とは違うと思われるものもあります。
QRコードもしくは大津町HPから議会へと進まれて録画記録をご覧ください。

施政方針について



議会 ICT 推進

- ① 議会を広く公開
- ② 経費削減



映像配信に関する要綱

「大津町議会を広く町民に公開するために、映像配信に関する必要な事項を定める要綱」が一部改正されました。
利用許可申請書を提出し、許可を受ければ、議会録画映像及び音声を複製し利用することが出来るようになりました。



ペーパーレスによる削減のイメージ

昨年タブレットを更新しファイル共有システムを導入、新庁舎の完成に伴いWi-Fi環境が整備されたことによりタブレットを活用した議会運営について一定の環境が整いました。
紙媒体と併用しながらタブレット操作に慣れ、可能な部分からペーパーレス化を行い、資源および経費の削減に向けた取り組みを進めていきます。

令和4年4月15日 大津町給食センター 研修テーマ 「～安定的な学校給食の提供を～」



二市二町の学校給食の状況

| 自治体 | 給食回数 | 一食単位 | 年額 | |
|-----|------|------|------|---------|
| 合志市 | 小学校 | 196回 | 260円 | 50,960円 |
| | 中学校 | 191回 | 300円 | 57,300円 |
| 菊陽町 | 小学校 | 193回 | 245円 | 47,285円 |
| | 中学校 | 189回 | 291円 | 54,999円 |
| 菊池市 | 小学校 | 196回 | 250円 | 49,000円 |
| | 中学校 | 192回 | 295円 | 56,640円 |
| 大津町 | 小学校 | 188回 | 238円 | 44,744円 |
| | 中学校 | 188回 | 267円 | 50,196円 |

大津町の学校給食について、実際に試食をし、学校給食及びセンターの運営状況について意見を伺いました。
まず、試食において大変美味しく量も概ね丁度良かったが、中学生生等の放課後には少ないのでは、と感じたところです。
学校給食における原材料について、学校給食会からの仕入れ割合が高いが、地元で揃う野菜などにおいては地産地消の観点から地元で調達しているとのことでした。
次に、センターの状況は、4年前に大規模改修を行ったが、アレレギー対応食数の増加や、少人数学級の導入により、今の施設では、調理能力

はほぼ限界に達しているとのことで、今後、何らかのトラブル発生時や人口増が予測されることから新たな施設の必要性を委員から訴えました。
年間の給食回数について、近隣自治体より少なく、給食費が安いことや、関係しているのはいくつか、また、滞納の状況や公会計の導入についての間、回数増の意見があるれば、校長や運営委員会で協議を行っているとのことでした。
滞納状況については、就学援助の利用や平成27年度より口座振替を導入したことにより、滞納額については年々減少し、学校側の負担も軽減されている。とのことでした。

文教厚生委員会 意見交換会 歴史文化を生きながら、どのようなまちづくりを進めていくのかを明確にすべき

町の振興総合計画に基づき、歴史文化伝承館の目標として、まず来館者数を増やし、町民の方に町の歴史を知っていただくことを目標としている。そのために、今年度より副館長の配置や新規学芸員の採用など職員体制を整備したところである。ガイド育成などの取り組みの方向性や今後のスケジュール等については、今から皆さんと協議しながら、意見を取り入れつつ決めていきたいと考えている。

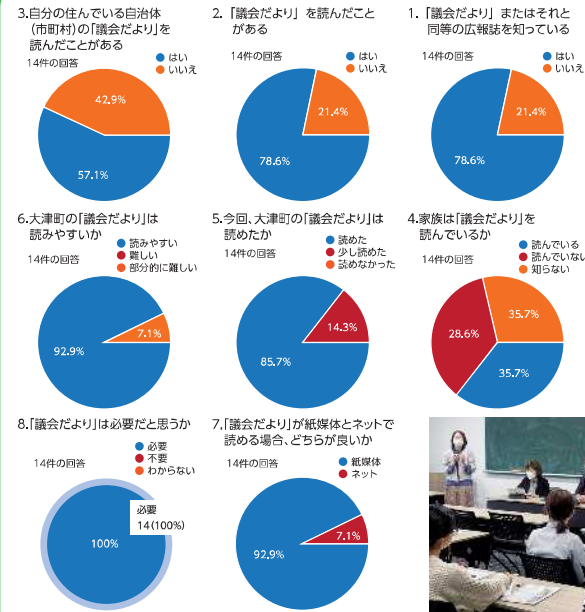
執行部より
町の振興総合計画に基づき、歴史文化伝承館の目標として、まず来館者数を増やし、町民の方に町の歴史を知っていただくことを目標としている。そのために、今年度より副館長の配置や新規学芸員の採用など職員体制を整備したところである。ガイド育成などの取り組みの方向性や今後のスケジュール等については、今から皆さんと協議しながら、意見を取り入れつつ決めていきたいと考えている。

委員より
① 歴史・文化については、教育や福祉に比べ、町民の関心の薄いところかもしれないが、郷土愛、地域愛を育てていくため広く伝えていく必要があると感じている。
② 歴史文化を生かしたまちづくりをすすめるにあたり、具体的にどういうことを中心軸として、どういう組み立て方にして、どういう風に成果を積み上げるのかという議論をして整理した方が、町が実施した取り組みについて質疑・意見を繰り返していても代わり映えないのでは。テーマ性のある議論をしながら組み立てていくべきではないか。

住民より
① 町が歴史文化関係にかけた予算に対してどのような成果が生み出しているのか気になった。まずは、予算をかける目的として歴史文化を生かしながらどのようなまちづくりを進めていくのか明確にすべきではないか。
② 歴史文化を生かしたまちづくりをすすめるにあたり、具体的にどういうことを中心軸として、どういう組み立て方にして、どういう風に成果を積み上げるのかという議論をして整理した方が、町が実施した取り組みについて質疑・意見を繰り返していても代わり映えないのでは。テーマ性のある議論をしながら組み立てていくべきではないか。

若者の視点 尚綱大学生によるレポート 27

若者の視点
若者の視点
若者の視点



今回の意見交換会の中で、議員になるまでの経緯やきっかけ、議員だからその苦悩が印象に残った。三人の議員の方に議員になった経緯を伺ったが、そのうち二人は元々自分が議員になることは考えていなかった。性別も年齢も異なる三人だが、議員を志した際に家族から反対されたというのは共通している。現在は少しずつ相互理解を深め、家族で協力しているといるが、「巻き込んで欲しくない」「離婚する」と言われたこともあるという。それに加え、住民や支援者の支持を受けることへの責任も重くのしかかる。

今年度は若者の投票率の低下が社会問題になっているが、お話に出てきた「投票は権利ではなく義務」との思いで、という言葉を覚えておきたい。自分達の意思が最も反映されやすい投票という行為を放棄しておいて政治に文句を言うのは筋違いなので、自分の声を伝えられる機会は十分に活用しなければと思った。

身近な存在だと再認識した

投票は「権利ではなく義務」との思いで

議会を観ての生の声

3月定例会の傍聴者数のべ44人、ライブ配信再生回数 929回 録画配信再生回数 100回(4/27時点)

新年度の取り組みを楽しみにしています

3月15日、文教厚生常任委員会主催の、歴史文化に関する意見交換会に参加する機会を得たことがキッカケで、議会傍聴にいきました。

以前友人が、大津町にも歴史文化保護協会が必要ではないかと、奔走していたので、どのような質疑応答が聴けるのか楽しみに行きました。

地域から指定文化財に関する申請・届出する際のルールの必要性や、指定基準を定めるべきではとの質問に、町の条例に従ってと言う言葉の答弁に、私は町にどのような条例があるのかも知らず、傍聴に来たことを反省しました。

文化財保護協会の必要性に対しては、官民一体となって取り組む方向性が示されたので、この件で奔走してきた友人は、大きな、大きな一歩だと喜んでいました。私も新年度どのような取り組みがなされるのかとても楽しみにしています。



高本 梢さん (錦野)

住民に見える、活かせる文化財行政であって欲しい

○議会への提言・疑問・質問などをお寄せください。

Blank lines for submitting comments or questions to the council.

○今回の議会だよりで関心のある記事や感想があればお書きください。また、もっと読みたくするような「アイデア」があればお寄せください。

今回の議会で歴史文化財について質問があると聞き「文化財では飯が食えない、大津には参勤交代での宿泊は数回しかない」と言われた議員も過去にはおられました。いまだにこのような発言が行われている風潮があるはずはないと思傍聴席に座らせてもらった次第でした。



県文化財保護指導委員 上田 公幸さん (新)

今では議員構成も変わり老壮青で引き締まった運営に見え期待が膨らみました。町執行部も文化財調査研究から町づくりに活かしたい機運も感じられ今後も町・議会が議論伯仲する中に実のある町政が行われ、両者共にくれぐれも付度など行わず自分の祖先・故郷を思う気持ちで誇りある文化財を保存し、調査研究と共に住民に見える、活かせる文化財行政であってほしいと思いました。